

交 剣 知 愛

会長 川瀬 能男

事務局 幹事長 小川 徹

第600号(2023年8月号)
(2023年8月25日発行)

IGKC ホームページアドレス
<http://www.-igkc.or.jp>

【会長挨拶】



処暑の候、会員の皆様方にはお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

さて、今年11月に静岡県浜松市で開催される全国例会・国際親善剣道大会においてさらに多くの会員の皆様のご参加により海外剣士との国際交流を深めることをお願い申し上げます。

今年は特にまだまだ暑い日が続きます。どうぞお体を大切にご精進ください。

【月例会】

当月は8月19日(土)14時から16時までの間、中央区立総合スポーツセンターにおいて実施しました。

参加会員は新型コロナウイルス感染予防のため、月例会開始前に検温、氏名記帳及び当該施設の制約を確認のうえ手指消毒を行いました。

(集合写真)



1 参加者

指導の先生: 近光正、松下吉進、入井徳明、安部壽和、小林一郎

参加者数: 36名

2 稽古内容

会長挨拶、留意事項伝達の後、準備運動を行い、廻り稽古、指導稽古、自由稽古を実施しました。

(指導稽古)



(廻り稽古)



(講話)



3 近範士講話(審査における要訣)

- ① “行の技” 剣道の動きの速さの違いを書道の運筆、楷書(ゆっくり)、草書(速い)、行書(中間)に例え、いかなる動きにも処し得る最高の技のことを“行の技”と言い、気を充実させ、相手と合気し、触刃の間から、柔らかく、大きく、ゆっくりと動き、相手の状況を見て技を出すことを本意とする。
- ② 懸待について 宮本武蔵の「我懸かる時の先は、身は懸かる身にして足と心の中に残し、たるまず、はらず、敵の心を動かす是懸りの先也」より～“足と心の中に残す”～の中とは中間・中庸のことであり、速さ、心を中心、中庸に残すこそが剣道の極意である。

【事務局からのお知らせ】

1 2023年度全国例会(兼国際交流会)

申込期限は過ぎていますが、今後の参加希望会員は幹事長あてご一報ください。主管の東海地区へ連絡いたします。より多くの会員の皆様の参加をお願いいたし

ます。

なお、開催地静岡県浜松市は日帰り圏内です。個人戦、団体戦の開始時刻はそれぞれ次のとおりです。

個人戦: 11月4日(土) 14:30

団体戦: 11月5日(日) 10:00

関東地区幹事長連絡先: tetujin-30@g08.itscom.net

2 今後の月例会の予定

月 日	時 間	場 所
9月24日(日)	13:00~16:00	新宿スポーツセンター第2武道場
10月21日(土)	12:50~15:00	目黒区立駒場体育館体育室
11月26日(日)	13:00~16:00	新宿スポーツセンター第2武道場

細部については別途お知らせします。

* 新宿スポーツセンター利用時の留意事項

- ①新宿区剣道連盟との合同稽古の形態をとっています。
- ②当会会員以外の新宿区剣道連盟会員が参加する場合がありますので予めご承知ください。

3 2023年度会費納入者(2023年7月27日~8月25日)

コラサnty・ロベルト、滝沢憲弘、塚原清彰、濱中寿、前川善行 (敬称略)

4 会費納入のお願い

2023年度会費は早急に納入をお願いします。

また、2022年度会費未納の方は2023年度分と併せて納入してください。

振込銀行: ゆうちょ銀行

* 振込手数料は会員各自にてご負担願います。